

## 第4回都市自治体行政の専門性（医療・介護・保健）に関する研究会

### 議事概要

日時：平成26年12月19日（金）17:00～19:00

開催場所：ホテルルポール麹町 地下1階「レスカル」

出席者：東京医科歯科大学教授 川淵 孝一 座長、  
東京海上日動ベターライフサービス株式会社 石山 麗子 委員、  
多摩市 伊藤 重夫 委員、大和市 高橋 隆行 委員、松本市 高木 寿郎 委員  
(公財)日本都市センター 石川研究室長、木村副室長、柳沢研究員

議事要旨：事務局より、埼玉県和光市、福岡県大牟田市および広島県尾道市公立みつぎ総合病院への現地調査結果の報告がなされた。  
調査研究に関する議論及び今後の進め方について議論を交わした。

#### 1. 現地調査結果の報告

- ・みつぎ病院や和光市の取組みについては、中心的な人物の強力なリーダーシップによるところが大きいのではないかと。
- ・尾道市東部では、みつぎ病院が運営するケアハウス・グループホーム・特養等の連携により、地域包括ケアが事実上完成しているといえるように思える。
- ・大牟田市では、行政は地域社会の応援役的な役割を果たしている。地域社会の単位は、従来から小学校区での活動が基本となっている。
- ・和光市や柏市の取組みは都会的なモデルであり、大都市圏では汎用性が見込めるかもしれない。
- ・自治体によって人口規模や立地条件をはじめとする地域特性は大きく異なっており、そのまちに合った地域包括ケアシステムを構築すべきであろう。

#### 2. 今後の進め方について

- ・「読まれる報告書」とするために、参考となる事例や情報を豊富に盛り込んでいきたい。
- ・地域包括ケアシステムを構築するためのヒントのようなものが見いだせればよいと思う。
- ・地域包括ケアシステムの理論的裏付けや先駆的な取組みに触れられている方がよいだろう。
- ・地域ケア会議について、開催手法や地域課題抽出のプロセスに悩んでいるところが多いようなので、先進的な事例を紹介するとともに、地域課題を分析するような視点も必要なのではないか。
- ・様々な住民がいるなかで地域包括ケアを構築するために、具体的な課題や悩みにも触れつつ、成功の鍵のようなものが少しでも見つけられるような報告書となればよい。

(文責：事務局)